

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

2019年2月7日

2019年3月期 第3四半期決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期 3Q	2019年 3月期 3Q	増減額 (率)
売上収益	1,102	1,108	6 (0.5%)
営業利益	125	139	14 (11.2%)
税引前四半期利益	126	142	16 (13.0%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	95	111	16 (16.7%)

<前年同期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

建設関連は減収となったものの、機能製品を中心に増収。

〔営業利益〕

機能製品の増益が、機能製品以外のセグメントの減益をカバーし、あわせて増益。

〔税引前四半期利益〕

営業利益増加と金融収支の改善により増益。

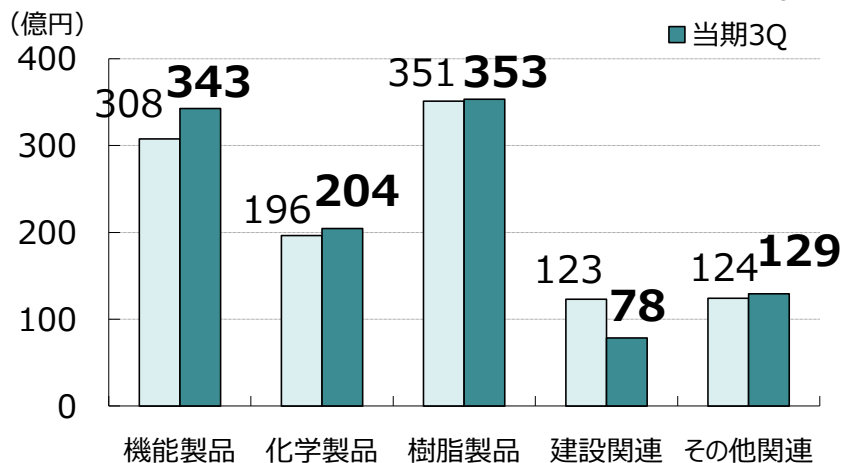
〔親会社四半期利益〕

税引前四半期利益の増加により増益。

KUREHA

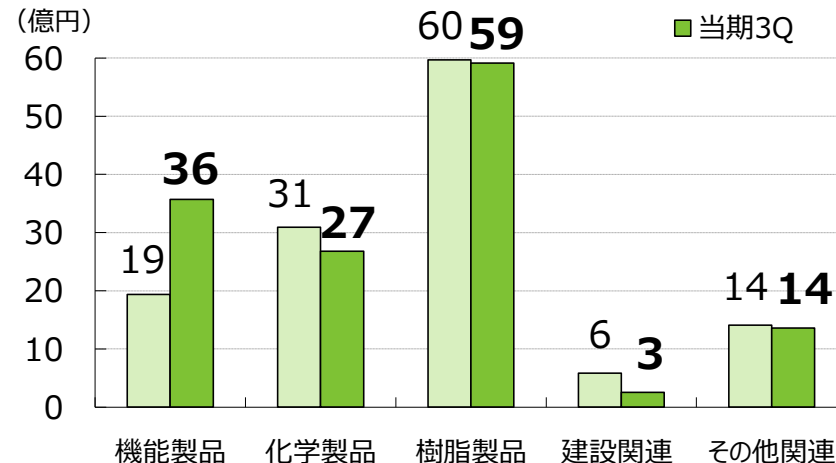
<セグメント別 前年 第3四半期比較>

【売上収益】



合計： 前期3Q 1,102億円 当期3Q 1,108億円

【営業利益】



セグメント合計： 前期3Q 130億円 当期3Q 138億円

<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 【機能製品】 機能樹脂、炭素製品ともに増益。
- 【化学製品】 医薬品、農薬が減益。
- 【樹脂製品】 業務用包材は増益となるも、家庭用品が経費増で減益、あわせて減益。
- 【建設】 建築工事が減収となり、減益。
- 【その他】 病院事業は採算改善するも、環境事業が処理単価の下落により減益、あわせて減益。

2019年3月期 第3四半期決算の概要 (3)

株式会社クレハ

2018年3月期 第3四半期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	308	196	351	123	124	1,102		1,102
調整							2	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							9	
営業利益	19	31	60	6	14	130	-5	125
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						6	
金融費用(-)							5	
税引前四半期利益								126
親会社四半期利益								95

…環境対策引当金 4億円
 固定資産除却損 2億円
 固定資産減損 2億円

2019年3月期 第3四半期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	343	204	353	78	129	1,108		1,108
調整							1	
その他の収益(+)							3	
その他の費用(-)							3	
営業利益	36	27	59	3	14	138	1	139
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						6	
金融費用(-)							3	
税引前四半期利益								142
親会社四半期利益								111

…固定資産除却損 2億円



(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
機能樹脂	179	201	22	12%
炭素製品	37	40	2	6%
クレハ単体 計	216	240	24	11%
連結子会社	214	238	24	11%
連結売上消去	-122	-136	-14	-
連結売上収益	308	343	35	11%
連結営業利益	19	36	16	84%

<前年同期比> 増収・増益

機能樹脂

PPSが減収となるも、LiBバインダー用途向けPVDF、シェールオイル・ガス掘削用途向けPGAは増収となり、増収・増益。

炭素製品

炭素繊維の売上が増加し、増収・増益。

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
農薬	66	64	-2	-3%
医薬品	34	36	2	6%
工業薬品	70	76	6	9%
クレハ単体 計	170	176	6	4%
連結子会社	47	53	6	12%
連結売上消去	-20	-24	-4	-
連結売上収益	196	204	8	4%
連結営業利益	31	27	-4	-13%

<前年同期比> 増収・減益

農薬

農業・園芸用殺菌剤の売上が減少し、減収・減益。

医薬品

慢性腎不全用剤の数量は増加するも、薬価改定等の影響で、増収・減益。

工業薬品

コストの上昇あるも価格改定により、増収・利益横ばい。

【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
家庭用品	167	169	2	1%
業務用包材	49	47	-2	-4%
クレハ単体 計	216	217	0	0%
業務用包材(海外)	96	97	1	1%
合成繊維	32	34	2	5%
その他	55	50	-6	-10%
連結子会社 計	183	181	-3	-1%
連結売上消去	-48	-44	4	-
連結売上収益	351	353	2	1%
連結営業利益	60	59	-1	-1%

<前年同期比> 増収・減益

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣糸「シーガー」の売上が増加したが、経費増加により、増収・減益。

業務用包材

熱収縮多層フィルムの売上は減少したものの、欧州の製造工場での原価改善により、減収・増益。

KUREHA

【建設・その他】セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	3Q	3Q		
建設関連事業	172	130	-42	-24%
連結売上消去	-49	-52	-3	-
連結売上収益	123	78	-45	-36%
連結営業利益	6	3	-3	-56%

【その他関連】

環境事業	80	86	6	8%
運送事業	63	62	-0	-1%
病院事業	27	28	1	3%
その他	14	14	1	5%
連結子会社 計	183	190	7	4%
連結売上消去	-59	-61	-2	-
連結売上収益	124	129	5	4%
連結営業利益	14	14	-0	-3%

【建設関連】

<前年同期比> 減収・減益

土木工事は堅調も建築工事が減少し、減収・減益。

【その他関連】

<前年同期比> 増収・減益

環境事業は産業廃棄物処理等が増加したものの処理単価の下落により、増収・減益。
運送事業は減収、利益横ばい。
病院事業は増収・増益。

KUREHA

1. 資産の部

	2018年 3月末	2018年 12月末	増減
現金・現金同等物	65	78	13
営業・その他債権	327	306	-20
棚卸資産	360	364	3
その他流動資産	18	51	33
流動資産計	770	798	29
有形固定資産	1,142	1,156	13
無形固定資産	13	12	-2
投資等	497	472	-26
非流動資産計	1,653	1,639	-14
資産合計	2,423	2,437	14

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2018年 3月末	2018年 12月末	増減
営業・その他債務	215	210	-5
有利子負債	481	478	-3
引当金	66	52	-14
その他負債	140	138	-2
負債計	902	878	-24
資本金	182	182	-
資本剰余金	153	150	-2
自己株式	-7	-37	-30 ※
利益剰余金	1,087	1,176	89
その他の資本	87	72	-16
非支配株主持分	18	16	-3
資本計	1,520	1,559	39
負債・資本合計	2,423	2,437	14

※ 2018年11～12月の間に、自己株式を約30億円取得しました。

(単位：億円)

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 修正予想	増減額 (率)	2019年 3月期 中計 オリジナル
売上収益	1,473	1,500	27 (1.8%)	1,600
営業利益	130	※ 155	25 (19.5%)	140
税引前利益	127	※ 155	28 (22.2%)	
親会社利益	97	※ 120	23 (23.7%)	90
	円	円		
中間配当金	55.0	70.0		
期末配当金	70.0	70.0		

※ 2月7日、業績予想を修正

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品を中心に増収。

〔営業利益〕

化学製品、樹脂製品、建設は売上減やコスト増により減益となるも、PGAの損益改善やPVDFの伸長などにより機能製品が大きく増益、さらに「その他の費用」の減少により、あわせて増益。

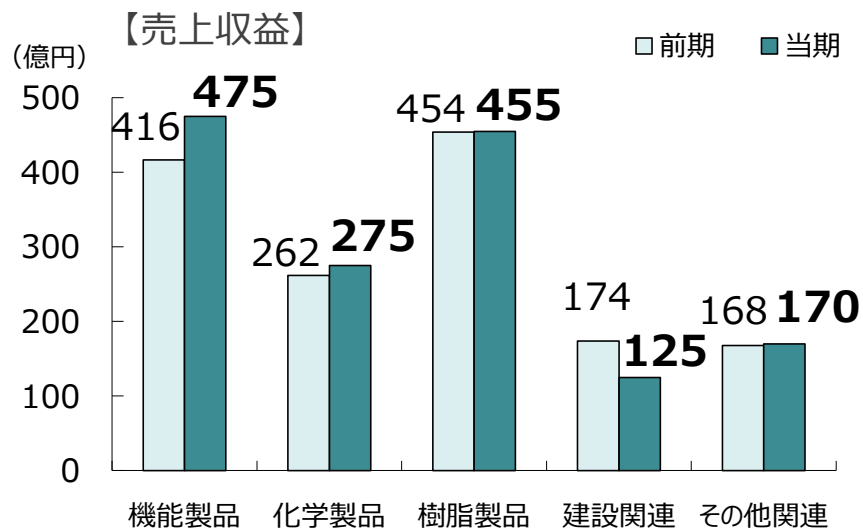
〔税引前利益〕

営業利益の増加により、増益。

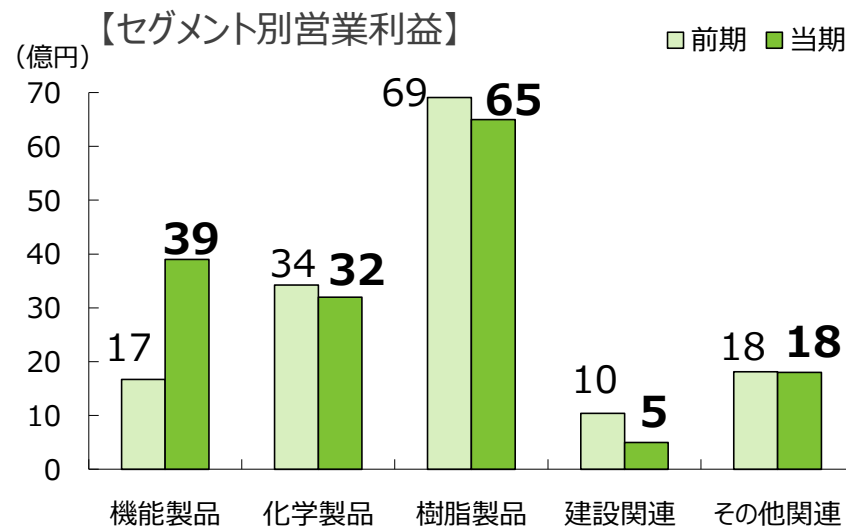
〔親会社利益〕

税引前利益の増加により、増益。

<セグメント別 前期比較>



合計：前期 1,473億円 当期 1,500億円



セグメント合計：前期 149億円 当期 159億円

<営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 PPSの損益悪化があるも、PVDFの伸長とPGAの損益改善で、増益。
- 〔化学製品〕 農薬は売上が減少、医薬品新剤形は数量増も薬価改定等の影響を受け、減益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の販促費等の経費増加のため、減益。
- 〔建設〕 売上の減少により、減益。
- 〔その他〕 環境事業は競争激化により減益も、病院事業の採算改善により、利益横ばい。

2019年3月期 業績予想 概要 (3)

株式会社クレハ

<セグメント別 前期比較>

2018年3月期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	416	262	454	174	168	1,473		1,473
調整							2	
その他の収益(+)							5	
その他の費用(-)							26	
営業利益	17	34	69	10	18	149	-19	130
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							9	
税引前利益								127
親会社利益								97

…補助金収入 3億円
 …固定資産除売却損 13億円
 固定資産減損 7億円
 環境対策引当金 4億円

2019年3月期 修正予想 (2/7修正)

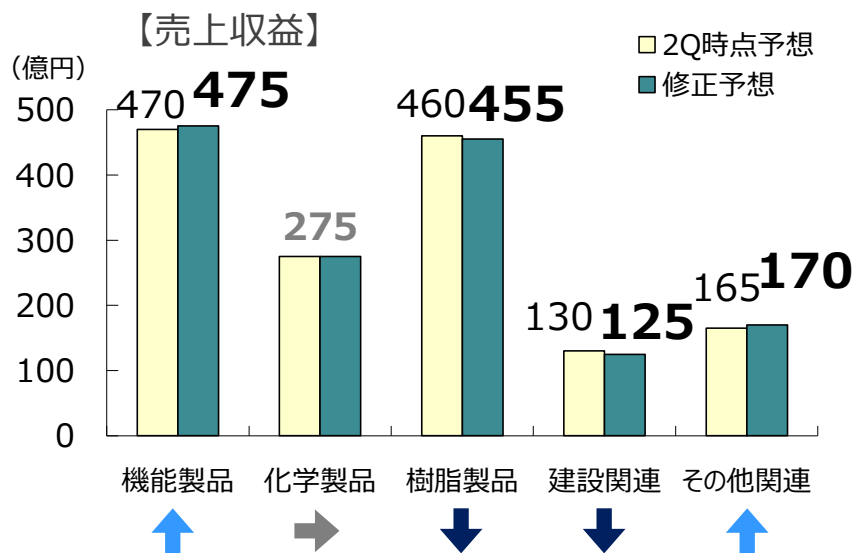
(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	475	275	455	125	170	1,500		1,500
調整							0	
その他の収益(+)							3	
その他の費用(-)							7	
営業利益	39	32	65	5	18	159	-4	155
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								155
親会社利益								120

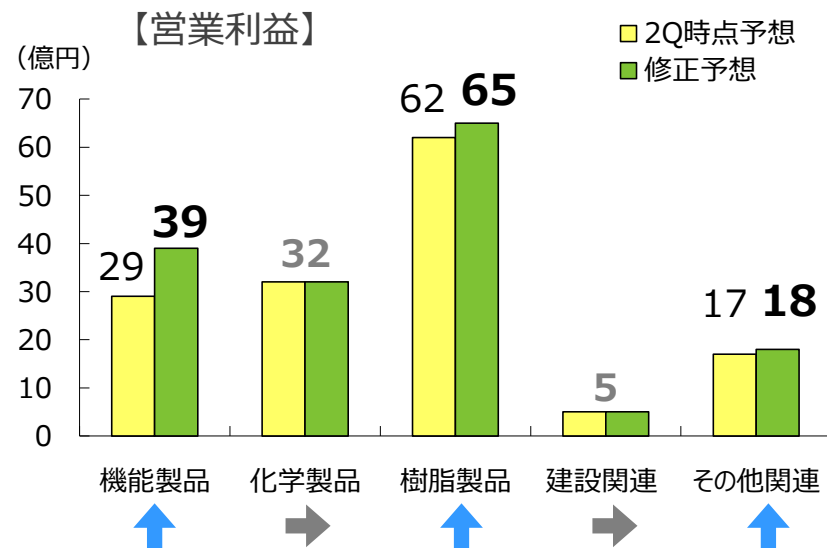
…固定資産除売却損 5億円

KUREHA

【セグメント別 2Q時点予想との比較】



合計：1,500億円 (修正なし)



セグメント合計：2Q時点 145億円 修正予想 159億円

<営業利益の主な変動ポイント>

- 【機能製品】 LiB用バインダー向けPVDF、炭素繊維、PPSが上ぶれ。PGAは売上・利益ともに若干の下ぶれ。
- 【化学製品】 変化なし。
- 【樹脂製品】 家庭用品の順調な売上と経費減により上ぶれ、業務用包装材が若干下ぶれ。
- 【建設】 変化なし。
- 【その他】 産業廃棄物処理が増加し、上ぶれ。

2019年3月期 業績予想 概要 (5)

株式会社クレハ

【セグメント別 2Q時点予想との比較】

2019年3月期 2Q時点予想

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	470	275	460	130	165	1,500		1,500
調整							0	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							7	
営業利益	29	32	62	5	17	145	-5	140
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								140
親会社利益								105

…固定資産除却損 5億円

2019年3月期 修正予想 (2/7修正)

(単位：億円)

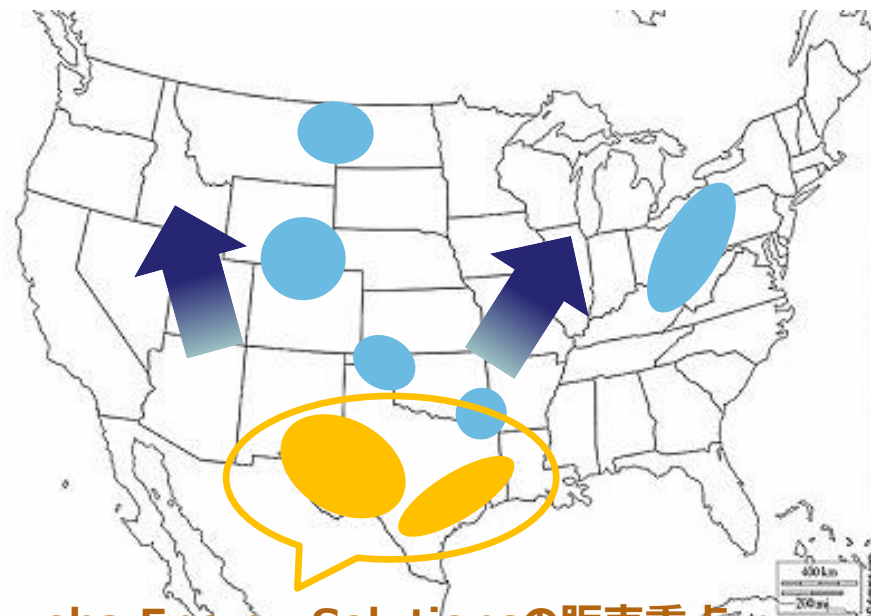
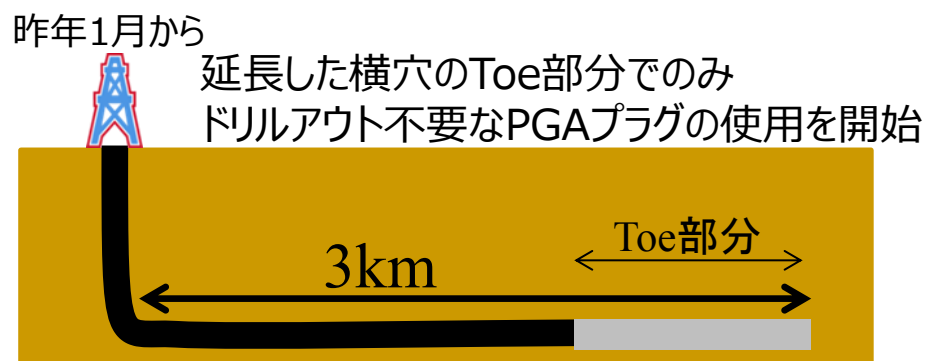
	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	475	275	455	125	170	1,500		1,500
調整							0	
その他の収益(+)							3	
その他の費用(-)							7	
営業利益	39	32	65	5	18	159	-4	155
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								155
親会社利益								120

…固定資産除却損 5億円

KUREHA

(参考) PGAプラグは部分採用から全体採用へ、 エリアも拡大

株式会社クレハ



Kureha Energy Solutionsの販売重点 エリア … Permian、Eagle Ford

- 採用社数は12社（11月比4社増）、販売エリアも拡大中。
- 一部の大手顧客は full boreでの使用を継続中。各社との本格採用に向けた商談が進行中。
- 超低温タイプは 顧客ニーズに対応した改良品の開発が終了、フィールドテストに向け準備中。

(2019年2月7日現在)

フッ化ビニリデン樹脂(PVDF)

自動車の電動化
(EV、PHEV、HEV)

▼
LiB用バインダーの需要拡大



いわき事業所のPVDF増強プラント

- 本年1月、P V D F 増強プラント（年産2,000トン、投資額47億円）の商業生産開始。
- 現在、いわき/6,000トン、中国/5,000トンの合計年産11,000トン。更なる増強については鋭意検討中。
- LiBメーカーの旺盛な需要から、各プラントとも高稼働継続中。

(2019年2月7日現在)

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。